

**単施設研究用**

**研究課題名 子宮内膜症の主要病態の解明と新規マーカーの探索 に関する情報公開**

**1. 研究の対象**

2000年1月1日～2019年12月31日に当院で子宮全摘術ならびに卵巣腫瘍摘出術を受けられた方

**2. 研究目的・方法・研究期間**

子宮内膜症は生殖可能年齢の10%程度に発症する疾患で子宮内膜と類似の形態と機能を持った組織が異所性に発育し、症候をもたらす疾患と定義されます。発症原因については月経血の逆流が有力とされていますが、ほとんどの女性に月経血の逆流を認めるもの、発症する女性は約10%である原因はまだ明らかにされていません。我々は子宮内の内膜（正所性子宮内膜）と内膜症（異所性子宮内膜）を比較検討することでその病態解明を目指しています。研究方法としては内膜症の無い方の正所性子宮内膜、内膜症のある方の正所性子宮内膜、異所性子宮内膜の網羅的遺伝子解析ならびに疾患特異的遺伝子の抽出・検討を行うことで主要病態の解明と新規マーカーの探索に努めます。今回は対象遺伝子ならびに疾患特異的蛋白発現の確認のため、研究期間を2019年8月26日から2024年5月31日と設定します。

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

試料：病理材料（手術で摘出した組織等）

情報：年齢、月経歴、妊娠分娩歴、既往歴、家族歴、病歴、血液検査結果（エストラジオール、FSH、LH、PRL、プロゲステロン、CA125、CA19-9）、手術記録、カルテ番号、病理検体番号 等

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-744-2261

担当者の所属・氏名：

（研究責任者）医学部附属病院総合周産期母子医療センター・講師・大須賀智子

(研究担当者) 名古屋大学大学院医学系研究科産婦人科学・大学院・村岡彩子